

令和 5年度

事務事業評価表 (令和 4年度 の実績評価)

記入年月日
令和 5 年 4 月 14 日

事務事業名		ヤマザクラの花咲く里事業				事業区分		担当	
						新規/継続	継続	事務事業No.	020101001001
						単独/補助	単独	所属課	090101
政策体系	総合計画の施策名	0201 学校教育の充実						所属課	学校教育課
	政策名	02 生きがいを育む学びのまちづくり						課長名	
	施策名	01 学校教育の充実						グループ	総務グループ
	手段名	01 ①教育内容の充実						担当者名	
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	10	01	02	06	00	ヤマザクラの花咲く里事業		
法令根拠						単年度繰返し (平成29年度~)			
						期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
手段	①事務事業の概要(事務事業の全体像)
	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移							
①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
児童に山桜の苗を育てさせる。種拾いから植樹までをセットとする。令和2年度以降はコロナ禍により密を避けるため種拾いは開催せず種蒔きから始めた。	種拾い実施校	校	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	種まき実施校		7.00	6.00	13.00	13.00	11.00
	苗移植実施校		4.00	5.00	13.00	13.00	11.00
	記念植樹実施校		2.00	2.00	13.00	13.00	11.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
市内学校児童	市内児童数	人	1,752.00	1,597.00	1,821.00	1,821.00	1,821.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)
桜が咲き誇るまちとし、それを市内外に情報発信することを児童が自ら実践することで、豊かな心の育成とふるさと桜川への「郷土愛」を育む	種まき参加人数	人	229.00	188.00	273.00	221.00	221.00
	苗移植参加人数		137.00	160.00	254.00	273.00	273.00
	記念植樹参加人数		35.00	35.00	100.00	175.00	175.00

(3) 投入量(事業費)の推移		03年度 (実績)	04年度 (実績)	05年度 (計画)	06年度 (目標)	07年度 (目標)	期間限定 総投入量
投入量	事業費内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	
		県支出金	千円	0	0	0	
		地方債	千円	0	0	0	
		使用料・手数料	千円	0	0	0	
		その他	千円	0	0	0	
		一般財源	千円	208	192	536	
		事業費計(A)	千円	208	192	536	
	正規職員従事人数	人	2.00人	5.00人	2.00人		

事業費の内訳	04年度事業費 実績(千円)			05年度事業費 予算(千円)		
	07 報償費	176		07 報償費	347	
	10 需用費	16		10 需用費	189	
	合計		192	合計		536

(4) 当該年度の実施内容	05年度の事業内容	06年度の事業内容	07年度の事業内容
※年度ごとに事業内容を記入する	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定をする。 ○開始1年目 種まき ○開始2年目 水やり、畑等への移植 ○開始3年目 水やり、剪定 ○開始4年目 卒業記念として移植 	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定をする。 ○開始1年目 種まき ○開始2年目 水やり、畑等への移植 ○開始3年目 水やり、剪定 ○開始4年目 卒業記念として移植 	<ul style="list-style-type: none"> 全体計画の策定をする。 ○開始1年目 種まき ○開始2年目 水やり、畑等への移植 ○開始3年目 水やり、剪定 ○開始4年目 卒業記念として移植

事務事業名	ヤマザクラの花咲く里事業	事務事業No.	20101001001	所属課	学校教育課
(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
まち・ひと・しごと創生総合戦略のさくらがわ地域DMO形成プロジェクトの1事業。平成29年から10年間のまちづくりの指針となる「桜川市第2次総合計画」に基づき、新規計画「ヤマザクラと市民の幸せを咲かせるプロジェクト」にも位置付け開始された。令和2年度より市内の小学校・義務教育学校全てで実施。					
(6) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
学校から苗木の扱いが難しい、教育カリキュラムとの兼ね合いで時間を取りづらい等多数相談が寄せられている。また、地植えや植樹を行うためのスペースがなく、記念植樹を保勝会への贈呈式として行う学校もある（R4.坂戸小）					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性（この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 桜川市第2次総合計画の「ヤマザクラと市民の幸せを咲かせるプロジェクト」として位置付けられている。
	②公共関与の妥当性（なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？）（法定受託事業はその名称） <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 児童が郷土のヤマザクラに関心を持ち、種を拾い、種蒔きをして育てることをとおして、郷土を愛する心を育てることを目的としている。
	③成果の向上余地（成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？） <input type="checkbox"/> 向上余地がない 自然のものなので、種や環境によって年度ごとに差異が発生する。
	④廃止・休止の成果への影響（事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？） <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ヤマザクラを通しての「桜川への郷土愛」を育むことが難しくなる。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性（類似事業や統廃合の可能性はありますか？（市以外の取り組みも含む）） （他に手段がある場合）⇒ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる ヤマザクラの知識を有する者がいないと成り立たない事業なので、保勝会だけではなくヤマザクラ課所管事業との連携・統合も考えられる。
	⑥事業費・人件費の削減余地（成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？） <input type="checkbox"/> 削減余地がある 経費については必要最低限で実施をしているため削減余地はない。実施方法に起因する業務時間の削減については、ヤマザクラ課と連携を図ることで削減余地はある。
効率性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地（事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？） <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市内全ての小学校（3年から6年）の児童に取り組む事業である。
公平性	

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性（次年度計画と予算への反映）

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括（振り返り、反省点）																						
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり	④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり																					
⇒		結果が出るまでに時間がかかる事業だが、種蒔きや移植・植樹に参加した児童たちは楽しんでいった様子だった。また、令和2年度から全ての小学校、義務教育学校で種まきを実施しているが、地植えや記念植樹をするスペースがないと各学校から相談があった。令和3年度より櫻川保勝会へ種の調達、講師を依頼している。																						
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果（終了・廃止・休止の場合は記入不要）																						
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止		（複数回答可） <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																						
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題（壁）とその解決策 各学校において地植えや記念植樹を行うための場所の確保に苦労しており、どうしても確保できなかった学校については記念植樹を急遽保勝会への苗の贈呈として行った（R4.坂戸小） 毎年種を蒔き、地植えしていくと植樹場所の問題はどうしても出てくるので、今後は他の学校でも記念植樹を苗の贈呈に変更、もしくはヤマザクラ課や保勝会で保有している圃場にて実施するなど、事業内容の変更で改善すると考える。		<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>				コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下		×	×
		コスト																						
		削減	維持	増加																				
成果	向上		○																					
	維持			×																				
	低下		×	×																				
(6) 事務事業優先度評価結果		①																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価（課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合）
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A：継続（現状維持） B：継続（改革改善を行う） C：終了、廃止、休止 D：2次評価へ提出	確認欄 <input checked="" type="checkbox"/> 確認